

平成25年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オービス

コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中浜 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

四半期報告書提出予定日 平成25年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第1四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第1四半期	2,222	△14.2	△25	—	△45	—	△47	—
24年10月期第1四半期	2,590	21.0	56	—	68	—	67	224.9

(注) 包括利益 25年10月期第1四半期 △29百万円 (—%) 24年10月期第1四半期 61百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第1四半期	△27.22	—
24年10月期第1四半期	39.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年10月期第1四半期	11,105	1,372	12.4	792.83
24年10月期	10,743	1,410	13.1	814.68

(参考) 自己資本 25年10月期第1四半期 1,372百万円 24年10月期 1,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年10月期	—	—	—	—	—
25年10月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,248	22.0	183	1.5	130	△21.1	111	△31.8	64.15
通期	11,916	22.3	392	242.0	288	263.5	220	235.2	127.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年10月期1Q	1,732,000 株	24年10月期	1,732,000 株
② 期末自己株式数	705 株	24年10月期	674 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	1,731,311 株	24年10月期1Q	1,731,326 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済状況の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年11月1日～平成25年1月31日)のわが国経済は、震災の復興需要等を背景に緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、欧州の経済停滞や日中関係の悪化等、企業業績への懸念材料も多く、新政権に対する政策期待はあるものの、実体経済への影響はこれからの段階であり、依然として先行き不透明な状況にあります。

木材事業におきましては、国内の住宅設備資材の荷動きが一部好調を維持しているものの、中国を始めとする新興国の経済成長の鈍化や鉄鋼業界の減産等の影響により、梱包用材等の受注環境は厳しい状況で推移いたしました。

原材料のニュージーランド松につきましては、安価なニュージーランド松に対する中国の購買意欲は依然として高く価格が再び上昇したことに加えて、船舶燃料も高止まりの状況が続いており、為替相場の円安基調と相まって原材料コストは上昇いたしました。

このような環境のもと、内製化による製造コストの削減に努めると共に、カット材・熱処理材の拡販を推し進め、販売量の増加に注力したことで、原木消化量及び製品出荷量は前期比で111.7%、103.7%とそれぞれ増加いたしました。しかしながら、一般建築材の供給過多の状況に変化はなく、国産杉材等が短納期及び安価にて梱包市場へ流入し続けていることで販売価格は弱含みとなり、収益を圧迫することとなりました。

その結果、売上高は15億94百万円(前年同四半期比99.7%)、営業損失は9百万円(前年同四半期は営業利益12百万円)となりました。

ハウス・エコ事業のハウス部門におきましては、震災の復興関連工事の需要や大型補正予算の編成により回復基調にあるものの、受注競争の激化や資材価格・労務費等の上昇等、建設業界を取巻く環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、従来からの収益改善策である利益率重視の選別受注による採算改善と工事原価の低減を一層強化することで、利益率の向上に努めてまいりました。

エコ部門におきましては、平成24年7月から開始した再生可能エネルギーの全量買取制度によって、急激に市場が拡大した一方、新規施工業者の参入等により、販売価格の低価格化が進む等、受注競争が激化してまいりました。

このような環境のもと、施工管理体制の強化に努め、関東以西においてメガソーラーを含む大型物件の施工に注力すると共に、大手商社やパネルメーカー等と協力して営業活動を強化してまいりました。しかしながら、大半の施工物件が第2四半期の売上高に計上されることから、当第1四半期において収益面での貢献には至りませんでした。

その結果、売上高は4億10百万円(前年同四半期比53.2%)、営業利益は5百万円(前年同四半期比7.4%)となりました。

アミューズメント事業のカラオケ部門におきましては、厳しい雇用環境や所得低迷の長期化により、お客様の消費意欲が減退し、同業他社間での低価格競争が激化する等、大変厳しい市場環境が続いております。

このような環境のもと、飲食メニューの内容を充実させると共に、お子様向けのキャラクター衣装の貸出しサービスを開始する等、集客力の向上を図り、収益の確保に努めてまいりました。

ゴルフ場部門におきましては、コースメンテナンスに注力すると共に、優待券の発行や冬季料金の設定を行い、集客力の向上を図り、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、売上高は1億95百万円(前年同四半期比97.4%)、営業利益は12百万円(前年同四半期比97.6%)となりました。

不動産事業の賃貸物件におきましては、不動産情報誌への継続的な広告を行うことにより、安定した稼働率を確保し、収益の向上に努めてまいりました。

なお、売買の引渡物件はありませんでしたが、一般住宅2件を受注いたしました。

その結果、売上高は22百万円(前年同四半期比112.0%)、営業利益は13百万円(前年同四半期比130.9%)となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は22億22百万円(前年同四半期比85.8%)、営業損失は25百万円(前年同四半期は営業利益56百万円)、経常損失は45百万円(前年同四半期は経常利益68百万円)、四半期純損失は47百万円(前年同四半期は四半期純利益67百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して3億61百万円増加し111億5百万円となりました。その主な要因は仕掛品が6億11百万円増加し、受取手形及び売掛金等が1億79百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して3億99百万円増加し97億32百万円となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金等が1億58百万円、短期借入金が5億円それぞれ増加し、長期借入金が2億67百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して37百万円減少し13億72百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が55百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月期の連結業績予想につきましては、平成24年12月12日の「平成24年10月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	645,415	554,824
受取手形及び売掛金等	2,513,856	2,333,955
リース未収入金	573,903	505,688
商品及び製品	224,051	263,306
販売用不動産	370,119	385,702
仕掛品	208,187	819,420
原材料及び貯蔵品	404,274	479,455
その他	491,627	524,897
貸倒引当金	△8,870	△10,062
流動資産合計	5,422,565	5,857,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,303,472	1,287,210
機械装置及び運搬具(純額)	1,367,044	1,303,142
土地	2,068,088	2,068,088
その他(純額)	230,636	215,523
有形固定資産合計	4,969,242	4,873,966
無形固定資産	48,790	46,548
投資その他の資産		
投資有価証券	99,088	122,870
その他	206,927	207,998
貸倒引当金	△3,478	△3,524
投資その他の資産合計	302,537	327,344
固定資産合計	5,320,570	5,247,858
資産合計	10,743,136	11,105,047

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金等	593,182	751,581
短期借入金	1,800,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,034,332	1,068,652
未払法人税等	17,878	6,043
賞与引当金	4,900	25,011
完成工事補償引当金	3,607	3,390
その他	915,971	883,073
流動負債合計	4,369,873	5,037,752
固定負債		
長期借入金	4,305,952	4,038,049
退職給付引当金	132,205	134,220
役員退職慰労引当金	93,667	95,635
船舶修繕引当金	6,384	15,961
資産除去債務	143,133	143,768
その他	281,445	267,041
固定負債合計	4,962,788	4,694,676
負債合計	9,332,662	9,732,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,980	684,980
資本剰余金	512,980	512,980
利益剰余金	219,567	163,788
自己株式	△674	△689
株主資本合計	1,416,852	1,361,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,323	10,413
繰延ヘッジ損益	△54	1,146
その他の包括利益累計額合計	△6,378	11,559
純資産合計	1,410,474	1,372,618
負債純資産合計	10,743,136	11,105,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
売上高	2,590,734	2,222,132
売上原価	2,192,425	1,901,733
売上総利益	398,308	320,399
販売費及び一般管理費	341,413	346,229
営業利益又は営業損失(△)	56,895	△25,830
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	639	688
仕入割引	285	362
補助金収入	40,890	—
債務時効益	—	3,035
その他	5,688	7,858
営業外収益合計	47,517	11,955
営業外費用		
支払利息	29,236	24,212
その他	6,286	7,291
営業外費用合計	35,522	31,503
経常利益又は経常損失(△)	68,891	△45,377
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,891	△45,377
法人税、住民税及び事業税	7,376	4,332
法人税等調整額	△6,111	△2,588
法人税等合計	1,265	1,744
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	67,626	△47,121
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67,626	△47,121

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	67,626	△47,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△326	16,737
繰延ヘッジ損益	△5,447	1,200
その他の包括利益合計	△5,773	17,937
四半期包括利益	61,852	△29,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,852	△29,184
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報等】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	1,598,363	772,398	200,288	19,684	2,590,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1	—	1
計	1,598,363	772,398	200,289	19,684	2,590,736
セグメント利益	12,758	71,027	12,465	10,630	106,881

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	106,881
セグメント間取引消去	3,458
全社費用(注)	△53,444
四半期連結損益計算書の営業利益	56,895

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	1,594,030	410,934	195,121	22,046	2,222,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,594,030	410,934	195,121	22,046	2,222,132
セグメント利益又は損失(△)	△9,383	5,253	12,167	13,916	21,954

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	21,954
セグメント間取引消去	3,788
全社費用(注)	△51,573
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△25,830

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。